

令和4年度 1学期終業式 式辞(R4.7.29)

令和4年度の1学期、最終日を迎えました。

これまでより1週間長い1学期となりましたが、皆さん、この1学期はどうでしたか。4月からの4か月、中学3年間の9分の1にふさわしい成長を遂げることができたでしょうか。1学期の終わりにあたって、しっかりと自分の歩みを振り返り、どこがどれだけ成長できたか、次なる課題は何かを考え、目標をもって夏休みに入ってくださいね。

さて、コロナ禍の学校生活も3年目となり、マスク生活も当たり前になってきました。そんな中でも、この1学期、過去2年間我慢せざるを得なかった中学校生活最高の行事を計画通り実施することができました。3年生の修学旅行です。感染状況がやや収まっていたこともあり、地域・保護者の皆様から力強い後押しをいただいたお陰なのですが、3年ぶりの修学旅行を実現できた達成感は大に大きく、予定通り全行程を終えて帰ってきたときは、学校全体が喜びに包まれているようでした。あのとき私は、すべての立山町民と全校生徒・教職員が一つになって修学旅行の実現を願い、その成功を心から応援してくれていると感じていました。あの一体感と、町全体が雄山中学校を温かく支えてくれているという安心感。それは、これまであまり経験したことのない喜びと感動でした。

しかし、なぜあんなにも多くの方が3年生の修学旅行を応援し、その成功を共に喜んでくれたのでしょうか。確かにいろんな条件がそろったこともあったでしょう。が、それだけでは、人は応援してはくれません。いざというときに人から応援してもらえる要素、私は、それこそが、「人としての信頼感」だと思います。具体的に言うと、3学年集団のもつ信頼感です。集団もまた人格をもちます。「この人は信じられる人だ」と思われるのと同じように、「この集団は信じられる集団だ」と思われるかどうか。その言葉が、行動が、態度が、信じるに値する人格であるかどうかを無言のうちに物語っているのです。日頃の正しい行動や礼儀・挨拶、優しさや思いやり。その積み重ねの結果が、いざというときに他の人からの応援という形で見えてくる。そのよき手本を、3年生は見せてくれたのではないのでしょうか。「人から応援してもらえる人になりなさい」とよく言われますが、こういうことなのですね。

皆さんの所属するクラスや学年、部活動は、他から応援してもらえる「信頼感のある集団」に育っていますか。そして、その集合体である雄山中学校という大きな人格は、今年度、地域・保護者から信頼され、他校からも尊敬される立派な人格をもつ学校に成長してきているのでしょうか。皆さん一人一人が、学校全体を構成している大事な組織体です。一人一人の成長が学校全体の成長に直接つながっていることを強く自覚して、これからも生徒の手による「理想の学校づくり」をがんばっていきましょう。

それでは、この夏休み、雄中生全員が、それぞれの目標に向かって自分を鍛え、30日後、一回り大きく成長した姿で戻ってきてくれることを願って、令和4年度1学期終業式の式辞とします。